

の改革を  
ーキング  
5月ごろ  
IT基盤  
た検討を  
に一定の  
検討を続

# 大賞に清水建設「生長の家」

## カーボンニュートラル賞



建築設備技術者協会（JABMEE、田辺新一会長）は12日、建物の省エネルギー化や再生可能エネルギー利用の優れた取り組みを評価する第

3回「カーボンニュートラル賞」受賞者を発表した。全国から21件の応募があり、大賞には清水建設の「生長の家」森の中のオフィスが、日本初のゼロエネルギービルが選定された。写真。同賞運営委員長を務めた野部達夫副会長は、「応募作21件中、リニューアルが5件、設備単体の応募が6件だった。新築中心だったこれまで比較して応募の多様化が進んでいる」と総評した。

大賞作品は、省エネルギー化と再生可能エネルギーを使用した創エネルギーの工夫によって日本初のマイナスエネルギービルを実現した点が高く評価された。受賞者は6月24日の本部総会で表彰する。

第4回カーボンニュートラル賞は9月上旬から応募を受け付ける。対象は、JABMEE会員または賛助会員の建築設備士が関与した新築、改修を含む建築・建築設備など。

そのほかの受賞業績と受賞者は次のとおり。

△カーボンニュートラル賞

- ▽さくらインターネット 石狩データセンター外気冷房型データセンターの構築
- △大成建設▽三建設 工業つくばみらい技術センター

△同支部奨励賞

- ▽ホテルまほろばESC事業
- ▽池田煖房工業
- ▽キヤノンスタワー
- ▽環境負荷軽減工後十年間の環境負荷軽減の取り組み
- ▽大林組
- ▽清水フードセンター
- ▽大学前店におけるスーパのエネルギー消費特性に配慮した省エネルギー事業
- ▽三菱機工業
- ▽中国電力本社ビルにおける省CO<sub>2</sub>改修
- ▽中国電力
- ▽西南学院中学校・高等学校の自然エネルギー利用
- ▽鹿島

高意一貴大

月期比2.2%増の4215  
はともには1300億円（連結  
億円、海外は42.5%増の2  
1310億円）、営業利益は